

2025(令和7)年度 部局マニフェスト

～私たちの組織使命と目標～



部局名	防災危機対策局長
役職	局長
氏名	西久保 陽
連絡先	0595-22-9640

業績目標の標語(指導者評価)
 目標としていた達成水準を上回る成果を出した(100%超)
 目標としていた達成水準に到達した(100%)
 わずかに目標の達成水準に達しなかった(90%以上100%未満)
 目標の達成水準には届かなかった(60%以上90%未満)
 目標の達成水準までは遠い結果となった(60%未満)
 目標達成のための取り組みが見られなかった

業績目標	表題	現状や課題	達成水準 (どこまでできれば達成したといえるか)
◎部局目標1 災害などの危機に強くなる	関連の施策・基本事業No. 2-1① 地域防災力・減災力	<p><これまでの経緯> 令和6年度 ・地区防災計画の策定(5地域) ・伊賀市防災・情報アプリ(ハザードン)の推進(登録者数10,899人) ・地域防災計画の修正</p> <p><取り組む目的> 地域住民の防災・減災意識が向上するとともに災害時の対応力が高まる。</p> <p><現状分析> 大半の地域では災害経験が少なく、防災・減災意識がいまだに低い状況にある。また、災害時の共助の体制が十分に整っていない。</p> <p><課題> すべての地域が災害等の危機に対応できるよう訓練や研修会等を実施し、近年の能登半島地震等の災害を踏まえた体制等の構築(見直し)を行う必要がある。</p>	<p><目標数値> ・地区防災計画作成地域 令和7年度 9地域(自治協) ※5カ年計画(令和10年度完了) ・伊賀市防災・情報アプリ(ハザードン)の登録者数 令和7年度 13,000人</p> <p><達成された状態> 地域が地区防災計画に取り組むことにより、地域における助け合い(共助)について、自発的な防災活動計画を策定することにより、地域防災力が向上する。</p> <p><手段> ・地域を対象とした研修会等の支援を行う。 ・近年の能登半島地震等の災害を踏まえた地域の体制等の構築(見直し)を推進する。 地域と共催した防災訓練(伊賀市防災訓練)の実施 ・地域住民の防災・減災意識の向上させるために伊賀市防災・情報アプリ(ハザードン)を活用するため、登録者数を増やす。</p>
◎部局目標2 災害などの危機に強くなる	関連の施策・基本事業No. 2-1② 危機管理体制	<p><これまでの経緯> 令和6年度 ・職員の安否確認訓練の実施 ・職員災害研修の実施 ・地域防災計画の修正 ・災害時優先業務(BCP)の洗出し・取組みの整理</p> <p><取り組む目的> 職員の災害等の対応能力を高めるとともに、災害等の危機への組織的対応力を強化する。</p> <p><現状分析> 災害等の危機対応について、職場の実践的な経験が十分でなく、危機意識が低い。また、危機事案等に対する組織的対応の経験も少ない。</p> <p><課題> すべての職員が災害時の危機に対応できるよう、訓練や研修に参加し、近年の能登半島等の災害を踏まえ、計画やマニュアルの見直しを行う必要がある。</p>	<p><目標数値> ・伊賀市総合防災訓練 1回 ・全部局の災害時優先業務(BCP)の課題解決に向けた研修・訓練等 5回</p> <p><達成された状態> 市職員の防災に関する知識を深め、災害時の役割を自覚し、組織として防災意識が高められる。</p> <p><手段> ・職員を対象とした研修・訓練を実施 職員安否確認訓練 防災アドバイザーによる職員研修 防災担当者外部研修参加 伊賀市総合防災訓練 ・近年の能登半島地震等を踏まえた、災害時優先業務の洗出し ・孤立する可能性のある地域への資機材等の整備</p>

達成状況 (自己評価)	理由